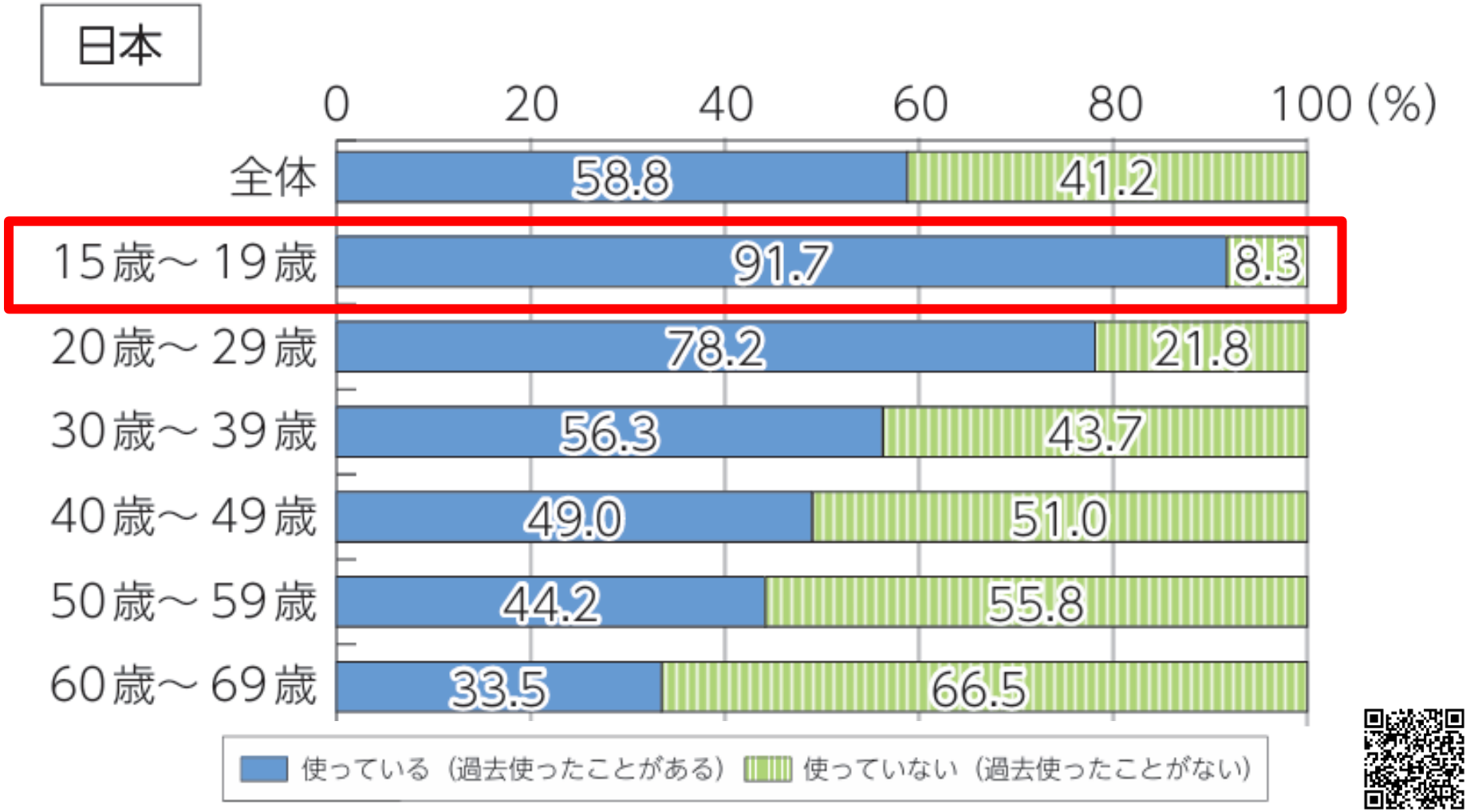
令和８年10月13日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

知りたい！情報活用能力の育成
「適切な取扱い」「特性の理解」
生成AI 編

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

生成AIサービスの利用経験



生成AIが子供たちにとって、すでに身近な存在になっている

【出典】総務省（2026）国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究 ※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r08/pdf/n1110000.pdf

本日の内容

D

1回目　10/13（火）16：15－16：30
2回目　10/30（金）16：15－16：30

知りたい！ 情報活用能力の育成
〈「適切な取扱い」「特性の理解」：生成AI編〉

授業や教職員研修で活用が可能な、生成AIに関するおすすめのページや動画コンテンツを、「情報モラルポータルサイト」や「学校現場における生成AIの利用について」のサイトから紹介します。

補足イメージ⑥

論点整理

情報活用能力の抜本的向上に係る主な課題

- 小中高を通じた育成体系が不明確であることや、他国と比べ指導内容が不十分であること等の課題を踏まえれば、情報活用能力の抜本的向上に向けた内容面の充実の方向性については、**（１）どのように情報技術の活用の実態を高めていくか**（主に①活用）、**（２）内容として不足している部分をどう充実するか**（主に②適切な取扱い、③特性の理解）という観点で総合的に整理することが重要

情報技術の
※コンピュータ、情報通信ネットワーク、AI、メディア等

①活用

情報技術の基本的な操作及び情報技術を活用した情報の収集、整理・比較、発信・伝達等に関すること

<具体的な課題>
- 小学校において教科等に明確に位置付けがなく、地域や学校による差が大きい
- 探究の学習の過程において情報技術の活用が十分ではない

②適切な取扱い

情報技術を扱う際の留意事項に関すること（情報モラル、権利と責任等）

<具体的な課題>
- メディアリテラシーについて学校の取組差が大きい（発信源の確認、複数媒体の比較、ファクトチェック等）
- 急激なスピードで広がる負の側面への対応が不十分（フィルターバブル、エコーチェンバー、デジタルとアナログの適切な使い分け、長時間利用の影響の理解を含むデジタルとの適切な距離の置き方に関する自己調整）

③特性の理解

情報技術の特性の科学的な理解に関すること(コンピュータの仕組み、データ活用等)

<具体的な課題>
- 小学校では扱われていない
- 中学校では技術分野の一部での取扱いにとどまる（産業や職業との関連が弱い）
- 学校種通じ、生成AI等の先端技術に関わる内容が明確に位置付けられていない

※指導体制の整備と併せて、技術の進展に伴い、教育内容が妥当性を失うことを防ぎ、教師の負担を可能な限り減らす仕組みを構築する必要

【出典】中央教育審議会 教育課程部会 情報・技術WG 取りまとめ(案)（会議後修正版）　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/content/20260804-mxt_kyoiku01-000051433-1.pdf

生成AIに関する授業・研修の際に活用を

主に**教員**向け

情報モラル教育ポータルサイト

主に**児童生徒**向け

情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

主に**教員**向け

学校現場における
生成AIの利用について

主に**教員**向け

情報モラル教育ポータルサイト

学習コンテンツ・啓発資料

授業実践・活用事例

やりたいことから動画教材を探す

教員向け動画コンテンツ

情報モラル教育関連サイト

生成AIを活用する

タブレットを初めて使う

インターネットを活用する

情報を発信する

オンラインで交流する

作品を作る

マナーを守って使う

SNSなどを使う

情報を確かめる

その他

【授業で使える】短い動画教材や、授業実践・活用事例が多数掲載

【出典】情報モラル教育ポータルサイト　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/

授業での活用例（実践授業例）

実践授業例　情報の「信頼性」を考えよう

授業中　モジュール　5分～15分

生成AIを使うときに、どんなことに注意する必要があるかを考えよう（教材㉘）

動画を見て問題だなと思うことを話し合う



動画の中で問題だと思ったことについて話し合い、調べ学習で生成AIを使用するときの注意点を考えます。

友達と意見を共有し、グループで議論する



ワークシートを使って、信頼できる情報と信頼できない情報について考え、友達と意見を共有します。

生成AIの特徴や情報の信頼性について解説する



生成AIを使用するときの注意点について解説し、信頼できる情報を見極める方法について理解を深めます。

【出典】生成AIを使うときに、どんなことに注意する必要があるかを考えよう（教材㉘）｜情報モラル教育ポータルサイト：文部科学省
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/casestudy/24.html　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

情報モラル教育ポータルサイト

推奨学年に応じた生成AIに関する５つの動画

小学生向け



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材㉜ そのつかいかた ほんとうに正しい？（小学生向け））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：
夏休みの宿題を題材に、生成AIの正しい活用の仕方について学びます。生成AIは便利な道具であり、人の代わりになるものではありません。学習の目的を考えたうえで使うかどうかを判断し、使った場合は出てきた答えを自分で確認・判断することの大切さが示されています。また、AIに頼りきりになるのではなく、自分の考えを深めるためのヒントとして活用する姿勢や、生成AIの特性についても理解できる内容となっています。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材㉘ 全部正しいの？生成AIって（小学生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：
情報技術の特性（生成AIの仕組み）と「ファクトチェック」について、小学生がイメージしやすいような内容となっています。例えば、どのように情報が出力されるのか、その情報には誤ったものもあることを理解し、その上で情報の正確さを判断する「ファクトチェック」が大切であることを学びます。

中学生・高校生向け



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材㉙ うっかり入力？個人情報を守るとは～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：
情報技術の特性（生成AIの仕組み）と個人情報・プライバシーについて、入力する情報や出力された情報をどのように扱うかを学べる内容となっています。例えば、利用規約やプライバシーポリシーをよく読み、入力した情報がどう使われるかを理解すること、出力された情報に誰かの個人情報が含まれていた場合、勝手に使用するとプライバシー侵害等のトラブルになる可能性にも注意が必要だということを学びます。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材㉚ あなたが作るもの「著作権侵害」してない？～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：
生成AIを活用したイラスト作成を題材とし、生成AIの作成した回答には、他者の権利を侵害する情報もあるという性質を踏まえ、自分で考えながら活用する大切さを考えさせる内容となっています。例えば、マンガや絵、音楽、動画などを、著作権者に無断でコピーしたり、WebサイトやSNSなどにアップロードしたりすることは著作権法で禁止されていること、生成AIで自分が作ったとしても、結果として既存の著作物に似た画像を生成した場合、著作権侵害として指摘される可能性があることを学びます。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材㉛ １つの情報で大丈夫？自分で考える情報選びとは～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

フェイクニュースやAIによるディープフェイクも出現している中で、子どもたちがこれらを信じ、扇動され、誤った行動を起こしてしまわないよう、先生がGIGA端末を用いた学習活動を行う際に指導し、子ども自身が学習のために活用できる動画教材を作成しました。

コンテンツ内容：
生成AIが作成した情報を、そのまま自己の成果物として応募・提出するリスクについて理解できる内容となっています。例えば、生成AIが提示する情報が常に正しいとは限らないため、自分で情報を確認する習慣を身に着けることが重要であること、情報の発信者や発信された時期、教科書や書籍など様々な情報を比較して、自分で考えることが重要であることを学びます。

【出典】情報モラル教育ポータルサイト
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/

情報モラル教育ポータルサイト



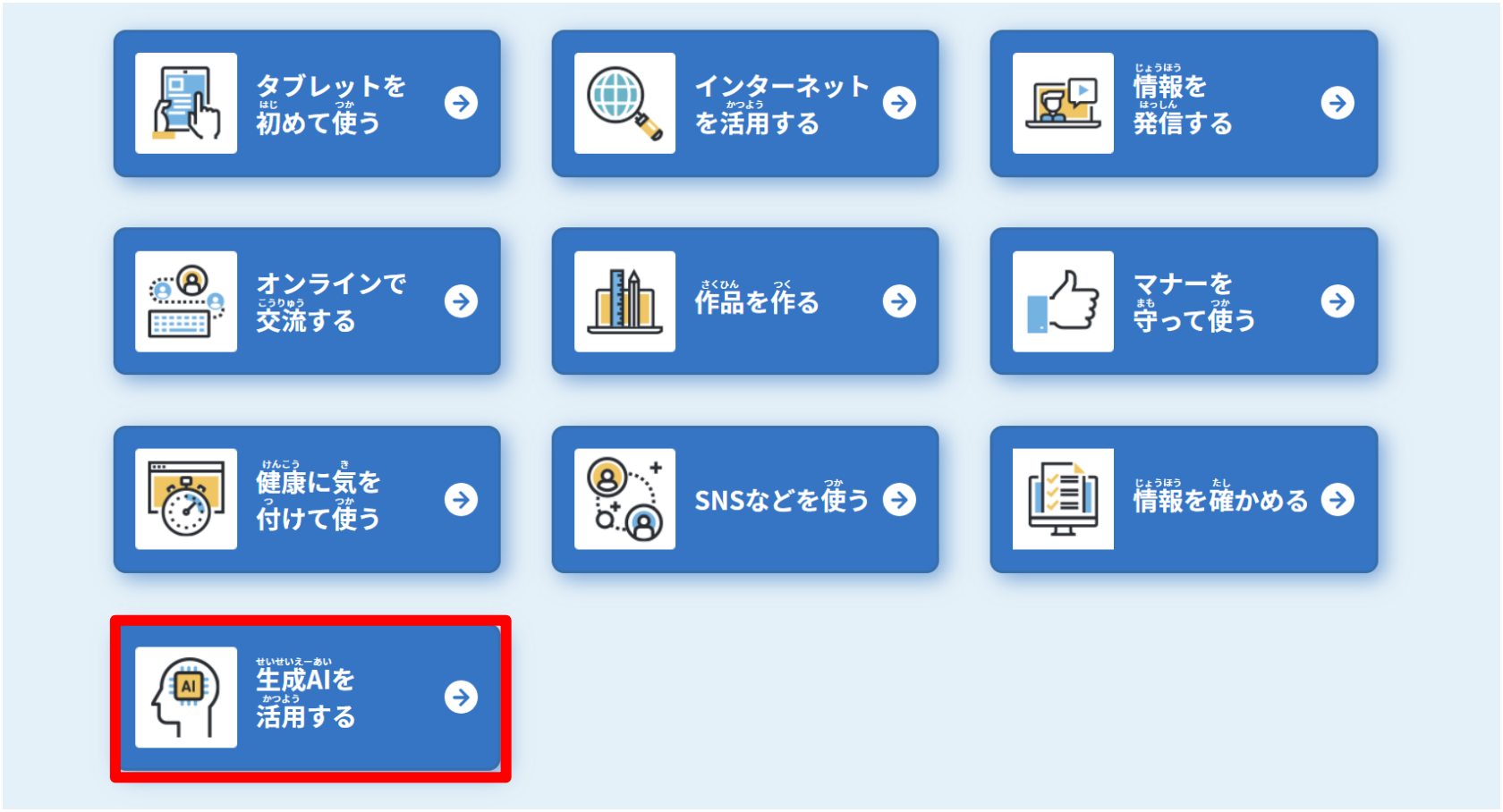
【出典】教材㉘全部正しいの？生成AIって（小学生）
https://www.youtube.com/watch?v=j9XJJkh2OYM

情報モラル教育 ポータルサイト

主に**児童生徒**向け
※対象：小１～高３

情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～



写真やイラスト、動画を見ながら問題に挑戦することで学ぶことができる

【出典】 情報モラル学習サイト　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/moral/#/

情報モラル学習サイト
～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

生成AIについて学べる５つのコンテンツ



・１コンテンツあたりの学習時間　約５分～10分
・学習が終了したら「済」のスタンプが押されるため、進捗がわかる

【出典】 情報モラル学習サイト　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/moral/#/

情報モラル学習サイト
～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

01 生成AIの情報が正しいか確かめる

ストーリーを確認した後、3つの問題に回答してください。

ハルトさんは、生成AIを活用して宿題に取り組んでいるようです。

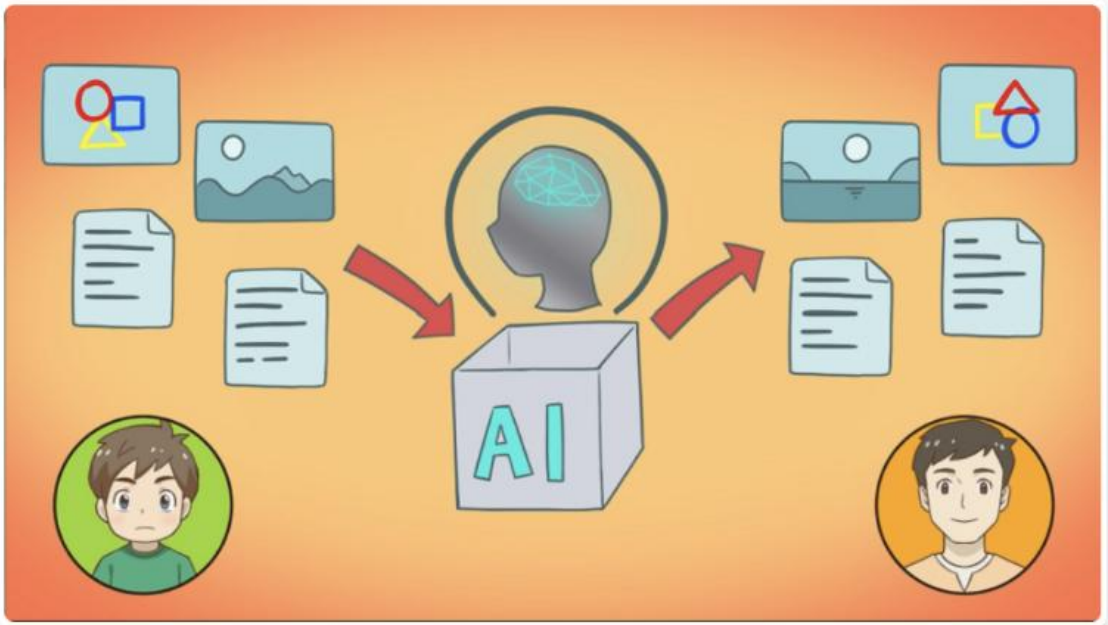


【出典】 情報モラル学習サイト ※赤線は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/moral/#/

情報モラル学習サイト
～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

01 生成AIの情報が正しいか確かめる

問題1



生成AIの説明について、正しいものはどれですか。
当てはまるものを、1つ選んでください。

① 毎回同じ答えを返す

② 答えはいつも正しいとは限らない

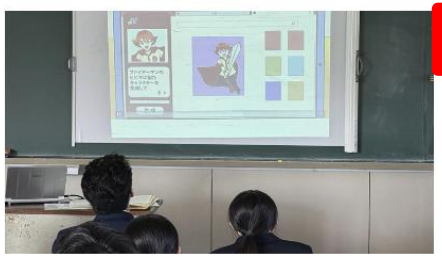
③ 専門家が答えを作っている

【出典】 情報モラル学習サイト ※赤線は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/moral/#/

情報モラル学習サイト
～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

研修でも活用する

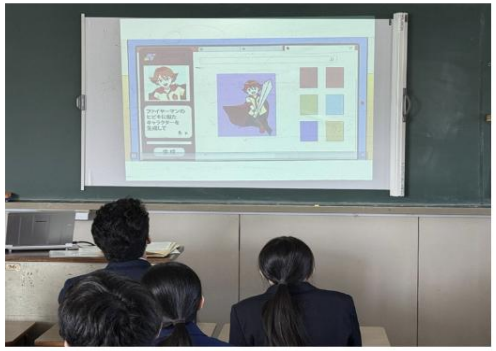
コンテンツを活用した教員研修の例（？）



生成AIにも著作権は関係するのかな

一人一台端末になり、生成AIの活用が進んだ状況を踏まえて、特に画像生成AIでイラスト作成する場面で気をつけるポイントを理解する。

動画を見て問題だなと思うことを話し合う



画像生成AIで生成されたイラストの使い方について、問題だと思うことを話し合います。

タブレットで友達の意見をみて、グループで議論する



生徒たちは、タブレットを使用して友達と意見を共有し、画像生成AIと著作権の関係について議論します。

生成AIの特徴や著作権について解説する



画像生成AIと著作権の関係について解説し、生成されたイラストを使用するときの注意点について理解を深めます。

【出典】生成AIを使用する時は、著作権に注意しよう（教材㉚） | 情報モラル教育ポータルサイト：文部科学省
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/casestudy/26.html ※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

準備の負担が少なく研修を実施

コンテンツを活用した教員研修の例

動画視聴（５分）



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材㉚あなたが作るもの「著作権侵害」してない？～生成AI編～（中高生））

掲載元：文部科学省

情報モラル教育ポータルサイト

動画を意見交流（５分）



問題に挑戦してみる（５分）



推奨（すいしょう）：中学生（ちゅうがくせい）・高校生（こうこうせい）

この問題（もんだい）に挑戦（ちょうせん）！

情報モラル学習（がくしゅう）サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

【出典】情報モラル教育ポータルサイト https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/
情報モラル学習サイト https://www.mext.go.jp/moral/#/

主に**教員**向け



初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（令和6年12月26日公表）

- 【本体】初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（PDF:2.4MB）
- 【概要1枚】初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（PDF:506KB）
- 【概要資料】初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（PDF:785KB）
- Guideline for the Use of Generative AI in Primary and Secondary Education (Ver.2.0)(tentative translation) (PDF:2.3MB)
- Guideline for the Use of Generative AI in Primary and Secondary Education (Ver.2.0)(Summary) (PDF:116KB)

【出典】 学校現場における生成AIの利用について　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/

学校現場における
生成AIの利用について

有識者が解説する動画



第1回「学校における生成AIの適切な使い方」（令和7年）



第2回「利用規約を確認する観点と運用上の留意点」（令和7年）



令和7年度 生成AIの利用に関する夏季公開学習会 行政説明



令和7年度 生成AIの利用に関する夏季公開学習会 パネルディスカッション（生成ＡＩパイロット校実践紹介）



令和7年度 生成AIの利用に関する夏季公開学習会 講評・クロージング



第1回 「生成AIの基礎と教育における活用可能性」（令和7年）



第2回 「生成AIを活用するための情報活用能力の基礎」（令和7年）



情報活用能力の育成と情報モラル教育を踏まえた生成AIガイドラインの理解（令和5年）



生成AIを活用する上での基本的な考え方（令和5年）



生成AIの性質や限界（令和5年）



[第1回]「生成AIの基礎と教育における活用可能性」（生成AIの利用に関するオンライン研修会【第1回】）（令和5年）



[第2回]「教育活動・教務で活用できるプロンプト紹介」（生成AIの利用に関するオンライン研修会）（令和5年）



[第3回]「生成AIを活用する上での基本的な考え方 情報活用能力の育成」（生成AIの利用に関するオンライン研修会）（令和5年）



[第4回]「技術の進化は教育に何をもたらすのか」（生成AIの利用に関するオンライン研修会）（令和5年）

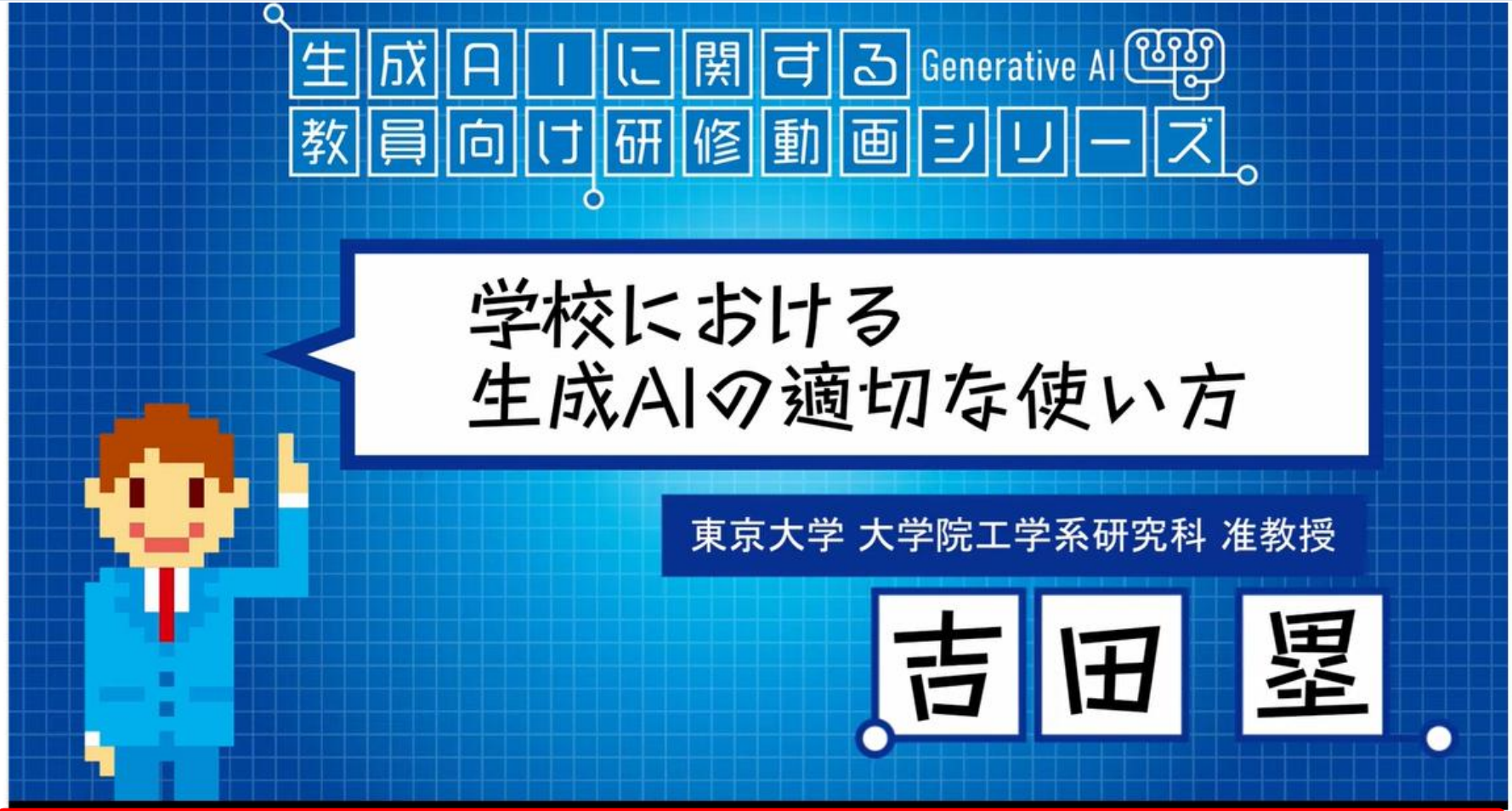


[第5回]「教育における生成AIの可能性」（生成AIの利用に関するオンライン研修会）（令和5年）

【出典】 学校現場における生成AIの利用について
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/#movie

学校現場における生成AIの利用について

有識者が解説する動画

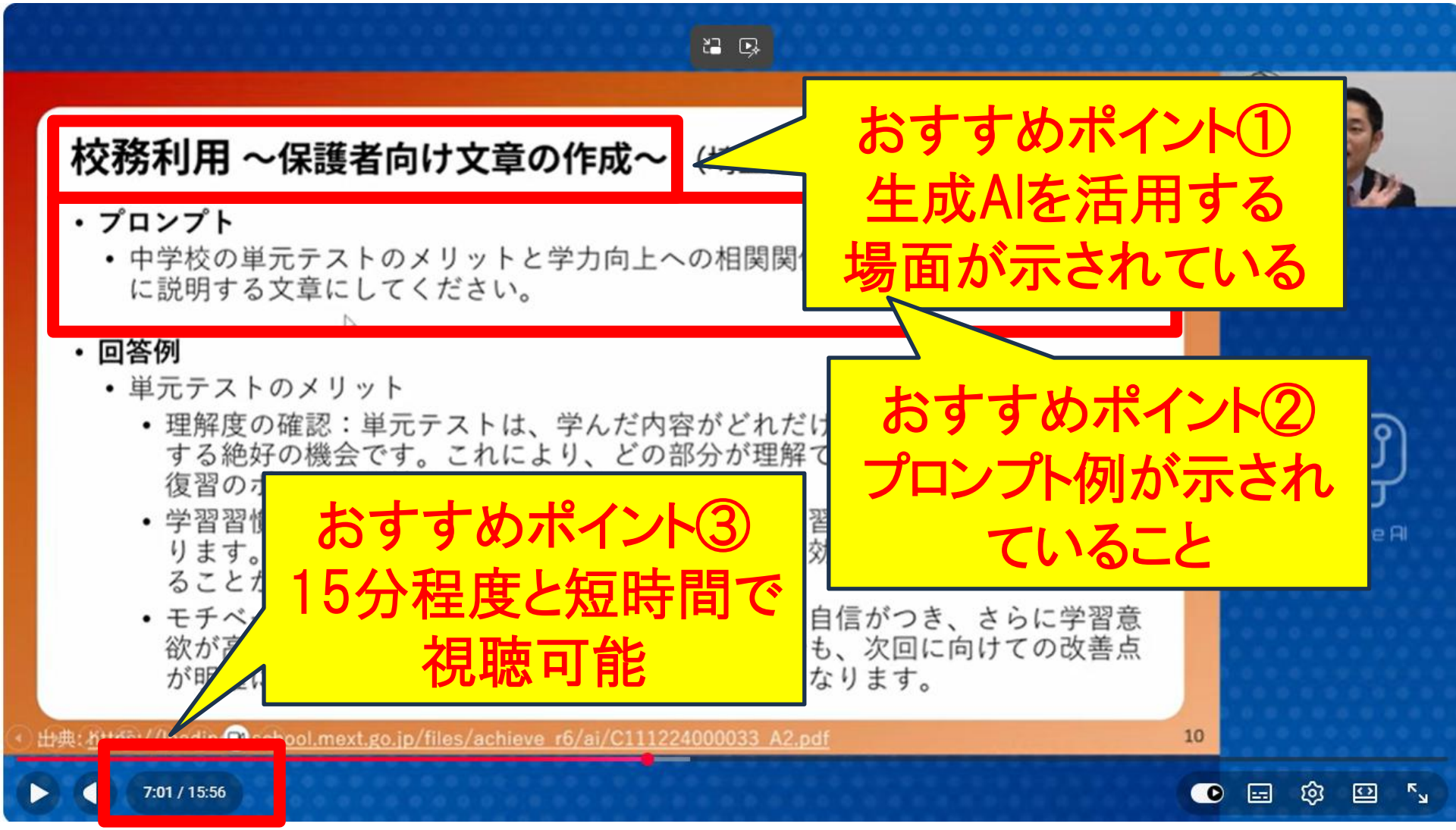


実践シリーズ第1回「学校における生成AIの適切な使い方」（生成AIに関する教員向け研修）

【出典】 学校現場における生成AIの利用について　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/#movie

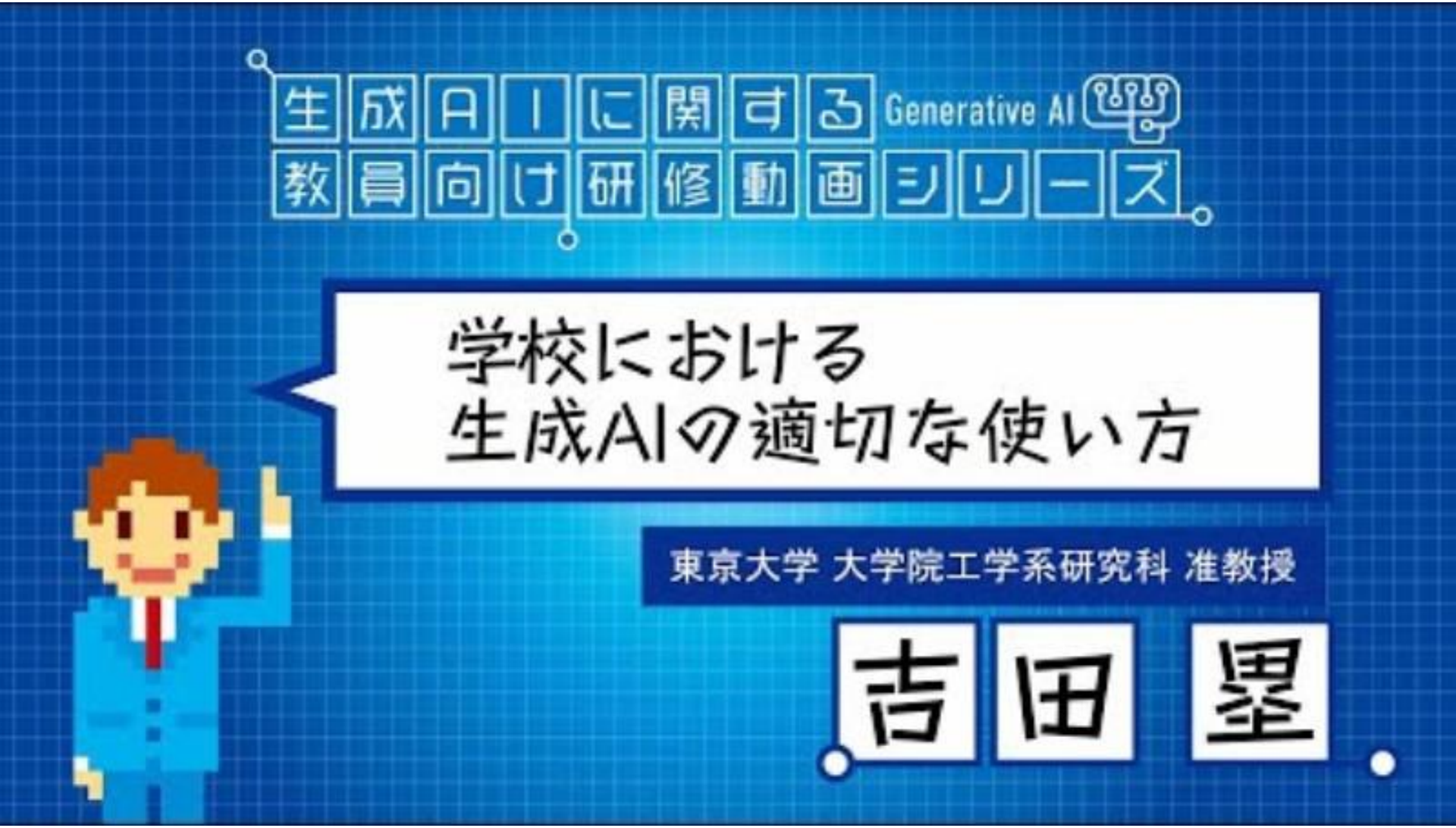
学校現場における
生成AIの利用について

３つのおすすめポイント



【出典】 実践シリーズ第1回「学校における生成AIの適切な使い方」（生成AIに関する教員向け研修） - YouTube
https://www.youtube.com/watch?v=9DB-k0B9Cmw&t=5s ※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

学校現場における
生成AIの利用について



【出典】 実践シリーズ第1回「学校における生成AIの適切な使い方」（生成AIに関する教員向け研修） - YouTube
https://www.youtube.com/watch?v=9DB-k0B9Cmw&t=5s



【出典】 学校現場における生成AIの利用について　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/

学校現場における
生成AIの利用について

生成AIに関する活用事例/公開授業等の予定

先行取組事例/事業成果報告書

令和7年度生成AIパイロット校一覧 ▶　令和6年度生成AIパイロット校成果報告　令和5年度生成AIパイロット校成果報告

令和8年度生成AIパイロット校一覧 ▶

令和6年/月5日時点

北海道

北海道	北海道帯広柏葉高等学校	最終報告
札幌市	札幌市立中央小学校	最終報告
	札幌市立発寒東小学校	最終報告

宮城県

岩沼市	岩沼市立岩沼北中学校	最終報告

令和8年度パイロット校公開授業等の予定

※リーディングDXスクールサイトのイベントページへ移動します



【出典】 学校現場における生成AIの利用について　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/#movie

学校現場における生成AIの利用について

生成AIに関する授業・研修の際に活用を

主に**教員**向け

情報モラル教育ポータルサイト

主に**児童生徒**向け

情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

主に**教員**向け

学校現場における
生成AIの利用について

令和８年10月13日（火）
GIGA StuDX推進チーム プチ学習会

知りたい！情報活用能力の育成
「適切な取扱い」「特性の理解」
生成AI 編

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(Ver. 2.0)【概要】

文部科学省

教職員や教育委員会等の学校教育関係者を主たる読み手として、学校現場における生成AIの適切な利活用を実現するための参考資料となるよう、生成AIの概要や基本的な考え方、場面や主体に応じて押さえておくべきポイントをまとめたもの。

1．生成AIについて

生成AIの概要

- 生成AIとは、文章、画像、プログラム等を生成できるAIモデルにもとづくAIの総称
- 汎用的なサービスだけでなく、様々な提供形態・提供主体が出現し、教育分野にも導入
- 様々なリスクの存在が指摘される一方で、技術的な対策も進展

2．基本的な考え方

人間中心の利活用

- 生成AIを有用な道具になり得るものと捉え、出力を参考の一つとして、リスクや懸念を踏まえた上で、最後は人間が判断し、責任を持つことが重要
- 学習指導要領に定める資質・能力の育成に寄与するか、教育活動の目的を達成する観点から効果的であるかを吟味した上で利活用
- 学びの専門職としての教師の役割が一層重要

情報活用能力の育成強化

- 生成AIの仕組みの理解、学びに生かしていく視点、近い将来生成AIを使いこなすための力を、各教科等の中において意識的に育てていく姿勢は重要
- 生成AIが社会生活に組み込まれていくことを念頭に、情報モラルを含む情報活用能力の育成を一層充実させていくことが必要

3．学校現場において押さえておくべきポイント

教職員が校務で利活用する場面

- 校務において利活用することで、校務の効率化や質の向上等、働き方改革につなげていくことが期待される
- 教職員自身が新たな技術に慣れ親しみ、利便性や懸念点を知っておくことは、児童生徒の学びをより高度化する観点からも重要
- 生成AIの仕組みや特徴を理解した上で、生成された内容の適切性を判断できる範囲内で積極的に利活用することは有用

児童生徒が学習活動で利活用する場面

- 発達の段階や情報活用能力の育成状況に留意しつつ、リスクや懸念に対策を講じた上で利活用を検討すべき。その際、学習指導要領に定める資質・能力の育成に寄与するか、教育活動の目的を達成する観点から効果的であるかを吟味することが必要
- 「生成AI自体を学ぶ場面」、「使い方を学ぶ場面」、「各教科等の学びにおいて積極的に用いる場面」を組み合わせたり往還したりしながら、生成AIの仕組みへの理解や学びに生かす力を高める

教育委員会等が押さえておくべきポイント

- 教育委員会が主導して制度設計や方向性を示すことが重要
- 各学校の実態を十分に踏まえた柔軟な対応を講じることが必要であり、一律に禁止・義務付けるなどの硬直的な運用は望ましくない
- 先行事例や教材・ノウハウの周知・共有、研修の実施により、生成AIの適切な利活用を推進する環境を整備することが必要

共通して押さえておくべきポイント

- 安全性を考慮した適正利用
- 情報セキュリティの確保
- 個人情報・プライバシー 著作権の保護
- 公平性の確保
- 透明性の確保、関係者への説明責任

参考資料編

- 各場面や主体に応じたチェック項目、生成AIパイロット校における先行取組事例、学校現場において活用可能な研修教材　等

【出典】【概要1枚】初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_002.pdf

文部科学省担当者がガイドラインを直接解説



本日の流れ

- 生成AIの利活用に関するガイドライン
- 生成AIパイロット校の取組
- 背景や最近の議論の動向

【出典】第２回プチ学習会アーカイブ動画「知りたい！学校現場における生成の利活用」 ※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.youtube.com/watch?v=5k9KWhSQ5ZM



アーカイブ動画・当日資料

アーカイブ動画

知りたい！特別支援教育での端末活用
（2026.08.05実施）



➤YouTubeで開く

ここから知ってみよう！学校のネットワーク
（2026.08.05実施）



➤YouTubeで開く

知りたい！学校現場における生成AIの利活用
（2026.08.06実施）



➤YouTubeで開く

知りたい！次世代校務DX環境と教育情報セキュリティ（2026.08.06実施）



➤YouTubeで開く

【出典】StuDX Style（スタディーエックス　スタイル）文部科学省　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/studxstyle/